

# 「中東情勢から見る世界平和」

平成27年7月10日

上村 司

## 中東・北アフリカ情勢

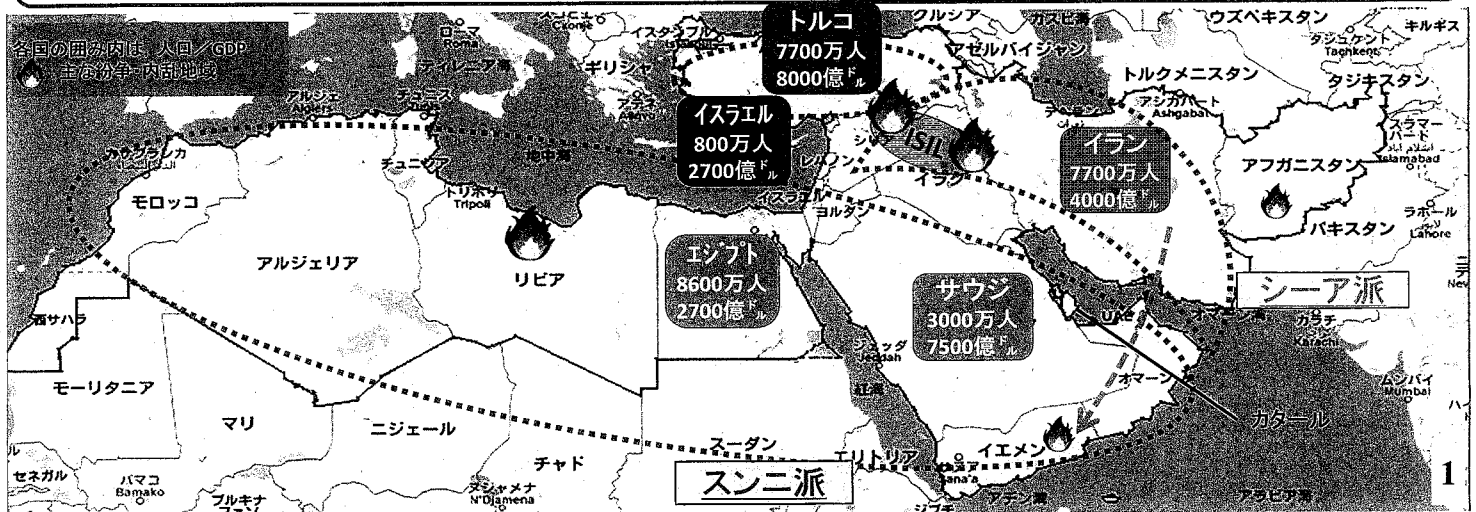
### 【中東地域の特質と重要性】

- (1)異なる帰属意識(宗教・宗派・民族)の混在と人為的国境線により国家統治が脆弱
- (2)いくつもの大国が存在するが、中でも5つの主要勢力(サウジ(GCC), エジプト, イラン, イスラエル, トルコ)が地域安定化の鍵
- (3)テロ・大量破壊兵器の拡散防止の観点から、中東の安定は世界の安定に直結
- (4)世界有数のエネルギー供給源と物流の要衝

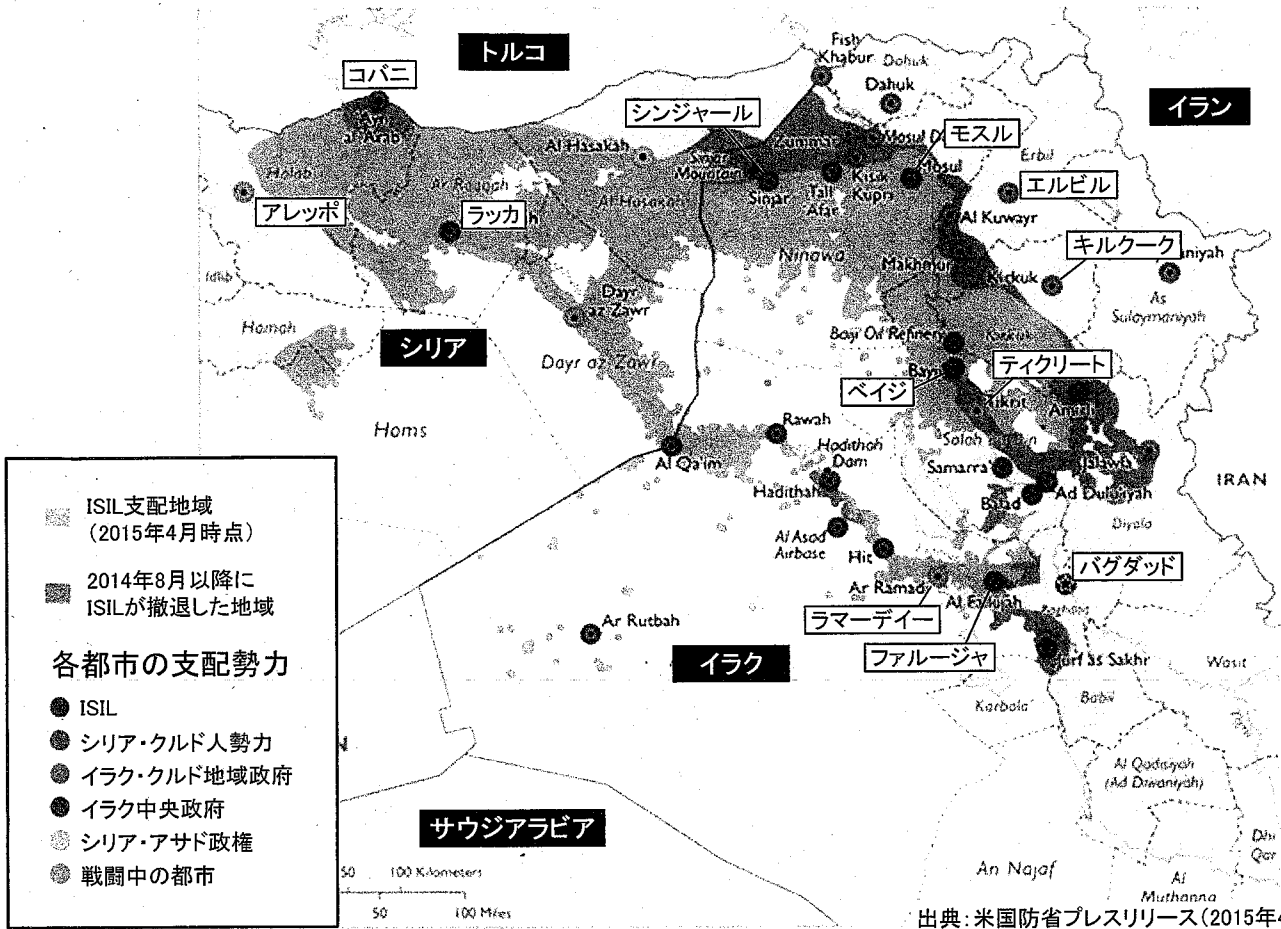
→「アラブの春」後の各国の混乱と域内パワーバランスの変化から地域は一層混沌。域内主要勢力による問題解決が必要。

### 【最近の情勢】

- 「スンニ派」過激組織:ISIL, ヌスラ戦線, アル・カーイダ等「イスラーム」を標榜する過激組織の跳梁跋扈。  
→イラク政府による安定回復, シリア混乱の長期化, 周辺国の負担増, 属州設置・忠誠表明, クルド問題の顕在化
- サウジとイランの関係に注目:スンニ派の盟主としてスンニ派の大同団結に舵を切るサウジ⇄欧米との核交渉と同時に周辺国への関与を強化するイラン
- 中東和平:イスラエル・パレスチナ間の交渉は目処立たず。パレスチナは国際社会へのアピールを強化。



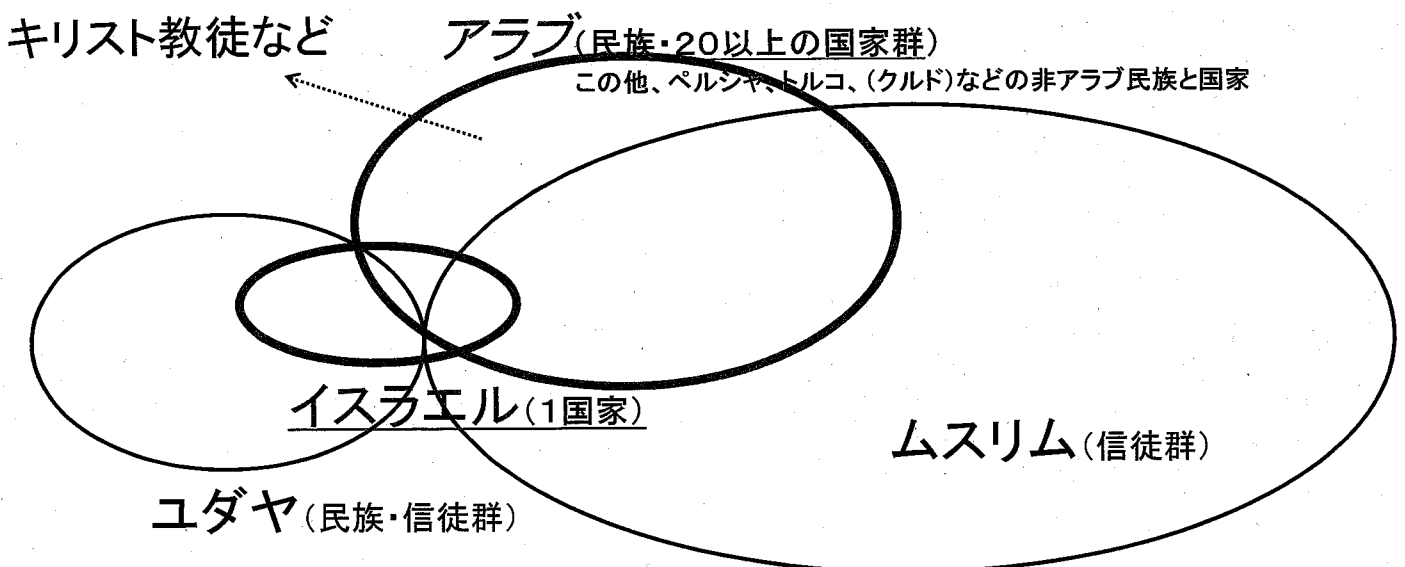
# ISIL活動地域



2

## 中東北アフリカにおける現実世界と精神世界の概観(1) 集合関係から見た図式

Tsukasa Uemura 作成



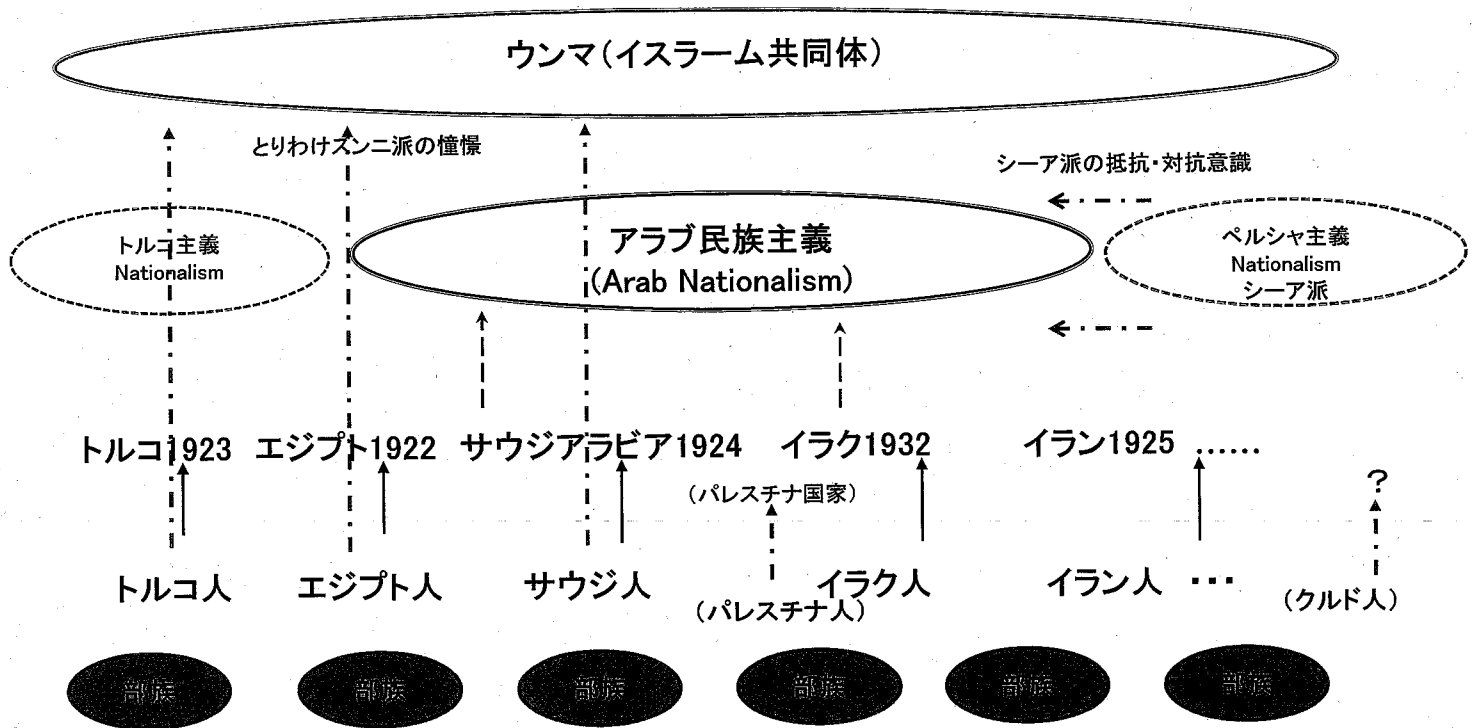
ムスリム: 世界で15億~20億人。コーラン。  
 アラブ: 3.5億人...アラブ連盟加盟国などの国民で、アラビア語を母国語とする人々  
 ユダヤ: 1,500万人...イスラエル国+(ユダヤ人コミュニティ)のユダヤ教徒。旧約聖書  
 キリスト教: 世界で20億人を超える。新約聖書。

3

# 中東北アフリカにおける現実世界と精神世界の概観(2)

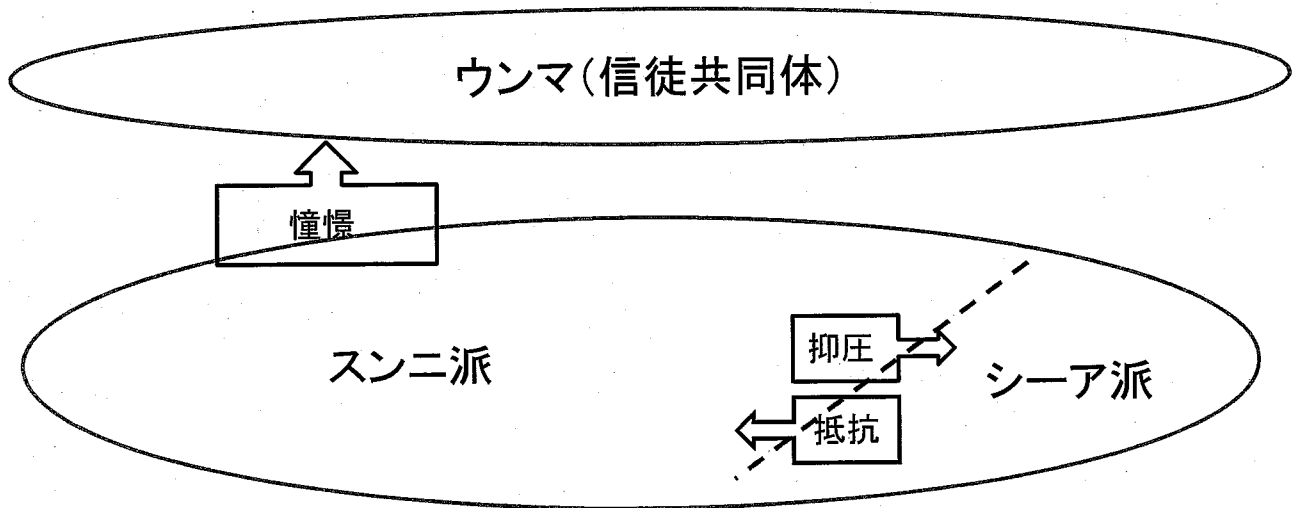
忠誠意識から見た図式: アイデンティティの複雑さ

Tsukasa Uemura 作成



## イスラームの二大宗派

Tsukasa Uemura 作成



スンニ派: 多数派。預言者のスンナ(慣行)に従う人々。ウンマ(イスラム共同体)重視。聖俗の長はカリフ(=代理者)。サウジ、エジプト、インドネシアなど。

シーア派(アリー党): 少数派。後発。第4代正統カリフであるアリーとその血統を重視。聖(俗)の長はイマーム(=教導者)。イラン、イラクなど。

